【事後評価】

平成20年度事業評価監視委員会（道路） 審議ポイント標準項目一覧

事業名	NO	県	事業箇所名	供用延長	車線数	評価対象理由	事業化年度 都計決定又は変更年度 用地着工年度 工事着工年度	事業期間				事業費（億円）				費用便益比 B／C		交通量（台／日）				旅行速度向上		交通事故減少		代表的な整備効果	社会情勢の変化等
								完成		暫定		完成		暫定				完成		暫定		（km/h）		（件/年）			
								計画時	実績	計画時	実績	計画時	実績	計画時	実績	計画時	事後	計画時※1	実績	計画時	実績	供用前現道	供用後当該路線	供用前現道	供用後現道		
道路	2	山形13号	一般二次松山交差点改良	1.0km	4車	完了後5年	H3 H2 H4 H11	H16	H15	－	－	40	127	－	－	－	2.3	40,700（H32） 35,400（H17） 【4車】	55,825（H17） 【4車】	―	―	25.8	32.6	16.0	5.3	①渋滞の解消 ②交通事故の減少 ③沿道環境の改善	―
道路	3	山形7号	一般二次三川バイパス	8.8km	暫定2車	完了後5年	H1 H1 H2 H4	―	―	H15	H15	228	―	155	218	－	6.3	**【2車】** 22,100（H22） 21,300（H17） **【4車】**	―	―	17,608（H17） 【2車】	36.0	46.8	42.3	20.3	①円滑な交通の確保 ②交通事故の低減 ③沿道環境の改善	―
道路	1	宮城47号	一般二次鳴子バイパス	5.85km	2車	完了後5年	S54 S56 S55 S57	H15	H15	―	―	63	87	―	―	－	1.6	9,600（H32） 8,400（H17） 【2車】	12,450（H17） 【2車】	―	―	26.0	41.6	2.7	1.0	①安全性・快適性の改善 ②交通混雑の緩和・沿道環境の改善 ③広域的な交流・観光の支援	―

※1：鳴子バイパス及び松山交差点のH17計画時推計交通量は、12次フレーム走行台キロの伸び率より換算した参考値。三川バイパスのH17計画時交通量は、10次フレーム走行台キロの伸び率により換算した参考値。